

**「ごみの分別方法の見直しとごみ処理費の住民負担」についての
パブリックコメント実施結果**

市民意見の募集状況

草津市廃棄物減量等推進審議会の「ごみの分別方法の見直しとごみ処理費の住民負担のあり方」（答申素案）についてのパブリックコメントを実施した。

(1) 募集期間

平成 21 年 2 月 1 日から平成 21 年 3 月 2 日まで

(2) 周知方法

広報くさつ 2 月 1 日号、市ホームページ等

(3) 提出方法

直接持参、郵送、ファックス、E メール

(4) 意見提出状況

125 名 / 299 件

- ①ごみの分別方法の見直しについて 17 名 / 24 件（延べ件数）
 ②ごみ処理費の住民負担のあり方について 122 名 / 275 件（延べ件数）

(5) 意見分類等

i) 賛否別意見提出者数

	ごみの分別方法見直し		ごみ処理費の住民負担	
	意見者数	構成比	意見者数	構成比
肯定的な意見	13 名	76.5%	38 名	31.2%
否定的な意見	3 名	17.6%	82 名	67.2%
分類困難な意見	1 名	5.9%	2 名	1.6%
計	17 名	100%	122 名	100%

※今回のパブリックコメントは賛否を直接問うものではないので、賛否分類に当たっては、肯定的な意見としては「賛成である・段階的に実施・やむをえない」等の語句が、否定的な意見としては「反対である・再考して欲しい」等の語句が記載されているものを中心に分類した。

ii) 意見種類別件数

①ごみの分別方法の見直しに関する意見

ごみの分別方法の見直しについて	24 件
・ プラスチック類の区分に関する意見	6 件
・ 陶器・ガラス類、古紙類の区分に関する意見	6 件
・ その他	12 件

②ごみ処理費の住民負担のあり方に関する意見

現在の制度における問題点について	14 件
・ 町内会、自治会に関する意見（現在の制度が町内会活動にメリットがあるとする意見他）	14 件
手数料の課金方法（負担方式）について	27 件
・ 無料配布の継続、無料配布枚数の見直しを希望する意見	22 件
・ 余った袋の買い取り、粗品との交換を希望する意見	3 件
・ 課金媒体はシール方式が望ましいとする意見	2 件
有料化するごみの種類について	9 件
・ 陶器、ガラス類、破碎ごみ類の現状維持の取扱いを希望する意見	7 件
・ ペットボトル類の無料は賛成とする意見	2 件
袋の料金水準および規格について	39 件
・ 新たな負担の増加を懸念する意見	27 件
・ ごみ袋の料金水準・規格等に関する意見	12 件
有料化（単純従量制）による効果について	130 件
・ 不法投棄、不適正排出、野焼きの増加を懸念する意見	60 件
・ 学生アパート等の近隣の不法投棄の増加を懸念する意見	18 件
・ 有料化後の減量効果を疑問視する意見（他の方法でも減量可能）	30 件
・ 収支に関する意見	10 件
・ 市民への啓発および情報公開に関する意見	12 件
社会的配慮による無料配布措置について	11 件
・ おむつ使用者への無料配布を検討すべきとの意見	8 件
・ 低所得者に対する配慮を検討すべきとの意見	3 件
財源の有効活用について	14 件
・ 市の行政改革の推進に関する意見	14 件
有料化（単純従量制）の導入時期および緩和措置について	15 件
・ 有料化の導入時期に関する意見	6 件
・ 既存袋の使用期限に関する意見	9 件
その他（非公開含む）	16 件
計	275 件